

名古屋大学医学部附属病院



パターン④（1 群連携施設での研修を中心とし、基幹施設での研修は定期的に複数回に分けて行うパターン）

1-3 年目：1 群専門研修連携施設で研修を行う。週 1 回程度定期的に基幹施設での研修を行い、必要に応じてコンサルテーションや CPC などの機会で基幹施設での研修を行う。研修の中心となる 1 群連携施設が基幹施設でもある名古屋第一赤十字病院の場合は、それ以外の連携施設での研修が全体として 1 年間確保できるようローテートのスケジュールを組む。

パターン⑤（転向者向け。他の基本領域専門医資格保持者が病理専門研修を開始する場合に限定した対応パターン）

- 1 年目：連携施設 + 基幹施設(週 1 日以上)
- 2 年目：連携施設 + 基幹施設(週 1 日以上)
- 3 年目：連携施設 + 基幹施設(週 1 日以上)

□ 主な連携施設

国立病院機構名古屋医療センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、中京病院、県立多治見病院、中部労災病院、名古屋掖済会病院、岡崎市民病院、公立陶生病院、安城更生病院、豊橋市民病院、刈谷豊田総合病院、江南厚生病院、市立半田病院、総合病院南生協病院、市立四日市病院、豊田厚生病院、土岐市立総合病院、一宮市立市民病院、海南病院、名鉄病院、大垣市民病院、西尾市民病院、名古屋共立病院、八千代病院、春日井市民病院、稲沢市民病院、東海中央病院、岐阜赤十字病院

□ メッセージ

指導医（教授 加留部 謙之輔）

豊富な指導教官による充実した指導と多彩な症例を経験することにより、安定して確実な診断を行える技能を習得することに重きを置いている。

一人の専攻医を常に複数の指導医が指導・評価を行うことにより、専攻医の技能習得状況を正確に把握しながら、適切な症例数を偏りのない内容で提供することが可能であり、各専攻医を信頼に足る病理専門医に確実に育てることを目指している。

□ 募集要項

・採用予定人数	年平均 10 人
・給与／月額	月額約 22 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数／月	0 回／月
・当直料／回	20,000 円／回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 加留部 謙之輔
	電話番号 052-744-2648
	E メール byouribu2@med.nagoya-u.ac.jp

病院長名 丸山 彰一

所在地 〒466-8560

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

交通案内 JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分

名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT（On the Job Training）を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学医学部病理専門研修プログラム

【研修目標】

診断技能のみならず、臨床検査技師や臨床医との連携や難解症例の扱いを習得することにより、地域基幹病院にて即戦力として活躍することが期待できる一方で、教育者や研究者など幅広い進路に対応できる経験と技能を積むことが望まれる。

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

パターン①（大学院に進学するパターン）

- 1 年目：基幹施設 + 連携施設(週 1-2 日)
- 2 年目：基幹施設 + 連携施設(週 1-2 日)
- 3 年目：基幹施設 + 連携施設(週 1-2 日)

パターン②（基本的なパターン。基幹施設を中心として 1 年間のローテーションを行うプログラム。）

- 1 年目：基幹施設での研修。希望に応じて連携施設（週 1-2 日）での研修も可能。
- 2,3 年目：1 群連携施設を基本とするが、希望に応じて引き続き基幹施設での研修が可能。

パターン③（1 群連携施設で専門研修を開始するパターン。2 年目以降で集中的に基幹施設で研修するプログラム）

- 1 年目：1 群専門研修連携施設で研修を行う。コンサルテーションなど必要時には基幹施設での研修も行う。
- 2 あるいは 3 年目：基幹施設での研修。希望に応じて連携施設（週 1-2 日）での研修も可能。